

発刊にあたって

大正13年に人口約5万人の市として誕生した川崎市は、首都圏に位置し羽田空港にも隣接する利便性の高さなどから、人口、世帯数ともに増加を続け、今や人口148万人、世帯数70万世帯を超える全国でも7番目の規模の都市に成長しました。

国や多くの自治体が人口減少局面に入るなか、人口増加が続いている川崎市ですが、今後急速に少子高齢化が進み、平成42(2030)年をピークに人口減少期へ転換すると見込まれています。

こうした状況のなか、本市が目指す都市像「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまちかわさき」を進める上で、統計情報は行政運営における基礎資料として大変重要なものです。

この「統計データブック」は、「川崎市統計書(平成27年版)」及び「大都市比較統計年表(平成26年版)」などから、市民生活に関わりの深い統計情報を中心に、分野別、体系的に整理し、グラフや解説を加えて分かり易く編集しています。

本冊子を通して、多くの皆様に活気溢れる本市の現況について理解を深めていただければ幸いです。

平成28(2016)年10月

川崎市長 福田 紀彦



平成28年版 川崎市統計データブック 目次

I ～平成27年国勢調査速報、統計ニュース～ 1

1	川崎市の人口の推移	2
2	区別人口	3
3	地図でみる町丁別人口増加率	4
4	地図でみる町丁別1世帯当たり人員	5
5	大都市の人口、人口増加数、増加率	6
6	市に関する統計ニュース①	7
7	市に関する統計ニュース②、③	8

II 市勢データ 9

1	人	口	人口の推移	10		
2			区別人口	11		
3			人口の自然増減と社会増減	12		
4			年齢別人口	13		
5			区別昼夜間人口比率	14		
6			労働力状態	15		
7			外国人住民人口	16		
8			婚姻と離婚	17		
9	事	業	所	産業別事業所及び従業者	18	
10				区別の民営事業所	19	
11				区別の産業別事業所数	20	
12				区別の産業別従業者数	21	
13				従業者規模別の概況	22	
14				資本金階級別の概況	23	
15	農	業		農業の推移	24	
16				区別の農業概況	25	
17	工	業		工業の推移	26	
18				区別の工業概況	27	
19				業種別の概況	28	
20				従業者規模別の概況	29	
21	商	業		卸売業、小売業	30	
22				卸売業の概況	31	
23				小売業の概況	32	
24				大型小売店の概況	33	
25	産	業	・	生活	海上出入貨物	34
26					卸売市場	35
27					賃金・労働時間	36
28					一般雇用保険	37
29					一般職業紹介状況	38
30					経済活動別市内総生産(名目)	39
31	都	市	生活	基盤	水道	40
32					下水道	41
33					市バスの運輸状況	42
34					主要駅の1日平均乗車人員	43
35					ごみの処理状況	44
36					犯罪認知件数	45

37					火災発生件数	46				
38					交通事故発生状況	47				
39	こ	ども	・	学	校	保育所の概況	48			
40						小学校・中学校の概況	49			
41	福	祉	・	健	康	生活保護の概況	50			
42						出生と死亡	51			
43	住			居		着工新設住宅戸数	52			
44						建て方別住宅の概況	53			
45	選			挙		選挙	54			
46	財			政		市税収入額	55			
47	市	民	意	識		市民要望・評価と定住状況	56			
	「	ち	よ	っ	と	一	服	」	かわさき市民の消費傾向 ～家計調査結果から～	57
										58

III 大都市データ 59

1	人	口	・	世	帯	数	及	び	面	積	60
2	人	口	動	態							60
3	年	齢	別	人	口						61
4	就	業	者	数							61
5	事	業	所								62
6	工	業									62
7	商	業									63
8	貿	易									63
9	住	宅									64
10	消	費	者	物	価	地	域	差	指	数	64
11	市	民	経	済	計	算					65
12	治	安	及	び	災	害					65
	「	ち	よ	っ	と	一	服	」	かわさき市民の主要耐久消費財の普及率 ～全国消費実態調査から～		66

IV 川崎市近隣市区データ 67

1	川	崎	市	近	隣	市	区	地	図	68
2	テ	ー	タ	ー	覧					69

V 基礎データ 71

1	川	崎	市							72
2	川	崎	区							73
3	幸	区								73
4	中	原	区							74
5	高	津	区							74
6	宮	前	区							75
7	多	摩	区							75
8	麻	生	区							76

利用上の注意

統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「0」、「0.0」……単位未満

「-」……皆無又は定義上該当数字がないもの

「▲」……マイナス又は比較減を表わす

「X」……該当数字はあるが発表をさしひかえたもの

「…」……数字が得られないもの